



## 「地域社会の経済発展月間」にあたり

日本銀行札幌支店長

松野 知之

(札幌RC)

第2510地区の札幌RCに今年7月から入会させていただきました日本銀行札幌支店長の松野です。出身は函館市ですが、北海道で勤務するのは初めてです。過去にも那覇RC（第2580地区）、広島RC（第2710地区）に加入していました。約4年ぶりにロータリアンに復帰できたことを、とてもうれしく思っております。

わが故郷である北海道経済の現状をみると、一昨年以降の新型コロナウイルス感染症の影響により、基幹産業である観光業を始め、幅広い業種が厳しい状況に直面してきました。今春以降は、新型コロナウイルス感染症の影響が徐々に薄れる中で、個人消費や観光が回復傾向を示しており、全体として緩やかに持ち直しています。その一方で、国際情勢の緊迫化等に伴い燃料や原材料価格の上昇がみられており、企業収益や家計の実質所得を下押ししています。冬の寒さが厳しい北海道では、燃料価格の上昇は大きな懸念材料です。ウクライナ情勢の長期化や新型コロナの感染再拡大の懸念も引き続きあるため、先行きの不透明感が強い状況が続いています。

こうした中でも、道内企業では、ポストコロナを展望した設備投資や新規事業の立ち上げなど前向きなチャレンジに取り組もうとしています。その実現のためには、企業経営者など多くの人の知見を集めていくことが大切になります。ロータリークラブは、「ロータリーの目的」という理念と志を同じくする方々と胸襟を開いて交流できる貴重な機会であり、現下の様々な課題や悩みを共有しつつ、人々の知恵を結集して職業奉仕や社会奉仕等に取り組む場として大きな意義を有しています。

那覇や広島のロータリーでは、所属しているクラブの方々はもちろん、地区内の他のクラブの方々とも交流する機会を得ました。那覇ロータリークラブに所属していた時は、おそらくローカルルールだと思いますが、他のクラブで卓話をすると2回分のメイクアップになったことから、沖縄の離島を含めて多くのクラブを訪問させていただきました。広島でもインターシティミーティング等で交流の輪を広げることができました。那覇や広島で知己を得たの方々の中には、北海道ファンの方も多く、札幌に赴任することになったと伝えたとこ、今度ぜひ遊びに行きたいとか、さらには北海道の方と一緒にポストコロナに向けて議論したいといったお話も頂いており、とても心強く思っています。

こうしたロータリアンの皆さまとのつながりを大切に、さらに札幌ロータリークラブで新たなつながりの輪を広げることで、2022-2023年度のテーマである「イマジン・ロータリー」にあるとおり、素晴らしい北海道の未来を頭に描きつつ、微力ながら貢献して参りたいと思います。何とぞ宜しくお願いいたします。